

②③ エコライフ & ネイチャーフェア

～ 未来へつなぐ世界自然遺産 つくろう自然史博物館 ～

実施主体
環境部環境再生課
自然保護課

開催時期（予定）：令和4年11月

参加者（見込）：1万人

〈50周年記念事業のテーマ〉

ウ 事業を通じて、祖先への敬意、自然への畏敬の念、他者の痛みに寄り添う肝心など、沖縄文化の魅力を共有し、恒久平和を願い、喜びを分かち合うユイマールの思いを大切にする、沖縄らしいやさしい社会の実現に向けた機運を高める。

事業の内容

県民一人ひとりが自然環境との共存について理解を深め、自らのライフスタイルを見直し、環境保全に主体的に取り組む契機とするため、従来の環境フェアを発展させた参加体験型フェアを開催する。

50周年記念事業に位置づける意義及び成果

やんばるや西表島の世界自然遺産登録、カーボンニュートラルやSDGsへの関心の高まりなどを背景に、さらなる環境保全への意識向上、ライフスタイルの変容を促し、沖縄らしいやさしい社会の実現に向けた機運を高める。

エコライフ & ネイチャーフェア

沖縄県

おきなわ
アジェンダ21
県民会議

共催

環境団体

教育機関

事業者

ブース出展・環境技術展・SDGs関連イベント

情報発信（世界自然遺産登録地、自然史博物館誘致）

野外参加体験イベント（拡充）

主な会場イベント

- 世界自然遺産関係イベント
（世界自然遺産大使トークセッションライブ、生物多様性保全・レスポンスブル Tourism等の取り組み紹介、登録地PR展等）
- 自然史博物館誘致に関する情報発信
（シンポジウム、企画展、ワークショップ等の開催）
- SDGs事例発表会
- 持続可能なライフスタイル提案のための環境技術展

野外参加体験イベント

- 世界自然遺産(やんばる)自然体験ツアー
- 干潟の生物観察
- バードウォッチング（野鳥観察）
- マイクロプラスチック調査体験学習
- リサイクル施設などの社会見学
- 動植物調査などのフィールドワーク



参加

県民



フェア目的

さらなる環境保全への意識向上
ライフスタイルの変容

世界自然遺産登録地を核
とした自然環境の保全・継承



沖縄らしいやさしい社会
（環境共生型社会）の実現へ